

令和5年度第一種動物取扱責任者研修 試験問題

次の問1から問10の設問をよく読み、別紙の解答用紙に数字で解答を記入すること。

※1 事業所名(正式名称)、登録番号、責任者氏名(フルネーム)を別紙解答用紙に記入すること。

※2 記入漏れは無解答とみなす。

※3 試験時間中は、本研修における配布資料のみ閲覧可とする。

問1 運動スペース分離型飼養等(ケージ飼育等)を行う際のケージ等の基準等について正しいものをひとつ選びなさい。

- ①犬:タテ(体長の2倍以上)×ヨコ(体長の1.5倍以上)×高さ(体高の2倍以上)
- ②猫:タテ(体長の2倍以上)×ヨコ(体長の1.5倍以上)×高さ(体高の2倍以上)、1つ以上の棚を設け2段以上の構造とする。
- ③猫については、2つ以上の棚を設け3段以上の構造とする。
- ④複数飼養する場合、各個体に対する上記の広さの合計面積のみを担保した構造とすれば良い。

問2 動物の疾病等に係る措置に関する事項について正しいものをひとつ選びなさい。

- ①1年以上継続して飼養又は保管を行う犬又は猫については、年1回以上の獣医師による健康診断を受けさせ、診断書を5年間保存すること。
- ②1年以上継続して飼養又は保管を行う犬又は猫については、半年に1回以上の獣医師による健康診断を受けさせ、診断書を5年間保存すること。
- ③1年以上継続して飼養又は保管を行う犬又は猫については、年1回以上の獣医師による健康診断を受けさせ、診断書を3年間保存すること。
- ④1年以上継続して飼養又は保管を行う犬又は猫については、半年に1回以上の獣医師による健康診断を受けさせ、診断書を3年間保存すること。

問3 従業者の員数、飼養又は保管をする環境の管理について正しくないものをひとつ選びなさい。

- ①飼養又は保管に従事する職員数が1名で、犬・猫ともに取り扱い、取り扱う犬の数が9頭の場合、取り扱える猫の数は17頭である。
- ②飼養又は保管する頭数には、繁殖後、親と同居する子は含む。
- ③飼養施設に温度計・湿度計を必ず備え付けなければならない。
- ④繁殖引退犬猫とは、繁殖及び販売に供することをやめた犬猫のことである。

問4 動物販売業者は、取り扱う動物の数について毎年度、定期報告を行うことが定められている。その定期報告の届出対象動物種として正しいものをひとつ選びなさい。

- ①哺乳類のみ
- ②哺乳類・鳥類
- ③哺乳類・鳥類・爬虫類
- ④哺乳類・鳥類・爬虫類・両生類

問5 次の届出事項と日数の組合せについて、正しいものをひとつ選びなさい。

(届出事項)	(日数)
①事業所の名称変更	30日以内
②主として取り扱う動物の種類及び数の変更	60日以内
③業を一時休業する場合	30日以内
④業を廃止した場合	60日以内

問6 次の人獣共通感染症と関連するものの組合せとして、正しいものをひとつ選びなさい。

- ①デング熱・・・ネズミ
- ②SFTS(重症熱性血小板減少症候群)・・・蚊
- ③エキノコックス症・・・ネコ
- ④日本紅斑熱・・・マダニ

問7 消毒等について正しくないものをひとつ選びなさい。

- ①紫外線による消毒は物理的消毒である。
- ②煮沸消毒は 100℃、10 分以上で煮つづけることで効果がある。
- ③次亜塩素酸ナトリウムによる消毒は汚れがあっても、効果に変化はない。
- ④アルコール系消毒ではゴム製品や合成樹脂が変性する場合がある。

問8 幼齢の犬又は猫に係る販売等の制限について、犬猫等販売業者が販売、引き渡し又は展示することが禁止されている日齢で正しいものをひとつ選びなさい(ただし、天然記念物に指定された犬を除く。)

- ①出生後49日を経過しないもの
- ②出生後52日を経過しないもの
- ③出生後54日を経過しないもの
- ④出生後56日を経過しないもの

問9 第一種動物取扱業が広告を行う場合、「動物の愛護及び管理に関する法律」において必要な記載事項として正しくないものをひとつ選びなさい。

- ①第一種動物取扱業の氏名(法人にあつては名称)
- ②登録番号
- ③登録の年月日及び有効期間の末日
- ④主として取り扱う動物の種類及び数

問10 次のうち、正しくないものをひとつ選びなさい。

- ①取引状況記録台帳は、個体ごとの帳簿をもって代えることができる。
- ②飼い主のいないあひるは愛護動物に含まれない。
- ③都道府県知事は、第一種動物取扱業の廃業後2年間はその業者に対し勧告を行うことができる。
- ④現在、特定動物を愛玩目的で新たに飼養することは禁止されている。